

# 熊本市立熊本市民病院が 担う役割について

令和5年6月 熊本市立熊本市民病院

# 1 現状と課題

## □ 理念

市民の生命と健康を守るために、安全で良質な医療を提供します。

## □ 基本方針

1. 患者さん中心の信頼されるチーム医療を実践します。
2. 地域の医療機関との連携を図り、効果的で効率的な医療を提供します。
3. 周産期医療，感染症医療などの高度な専門性を有する政策医療を提供します。
4. 働きやすい環境づくりをすすめ，優れた医療技術者の育成を行います。
5. 健全で安定した病院経営に努めます。

# 1 現状と課題

## □ 概要

標榜診療科数	31診療科
病床数	388床 内 NICU:18床. GCU:24床. MFICU:6床. HCU:14床. 感染症病床:8床(1種:2床, 2種:6床).
届出入院基本料等	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料2). 特定入院料(総合周産期特定集中治療室管理料(1母体・胎児集中治療室管理料)(2新生児集中治療室管理料). 新生児治療回復室入院医療管理料. ハイケアユニット入院医療管理料1. 小児入院医療管理料2).
公的機関等による 主な施設認定	地域医療支援病院. 熊本県指定がん診療連携拠点病院. 救急告示病院. 労災保険指定医療機関. 生活保護法指定医療機関. 指定自立支援医療機関. 育成医療指定医療機関. 臨床研修指定病院. 第一種・第二種感染症指定医療機関
職員数	821人 (正職:645人. 会計年度:176人)

# 1 現状と課題

## □ 診療実績

	令和3年度	令和4年度
外来患者数 (人)	111,994	116,827
入院患者数 (人)	9,004	9,354
入院患者延数(人)	111,415	114,593
病床稼働率(全病床)(%)	89.1	87.5
病床稼働率(コロナ病床を除く)(%)	96.2	94.1
平均在院日数(日)	11.4	11.3
手術実施数 (人)	4,210	4,529
救急搬送数 (人)	4,675	5,605

# 1 現状と課題

## □ 地域において担っている役割

### 1. 小児・周産期医療

総合周産期母子医療センターとして、緊急を要する母体や新生児を広域的に受け入れ、高度で集学的な治療を提供する。小児に対しては安全で信頼できる医療を提供し、健やかな成長発達を支えていく。

### 2. 救急医療

二次救急医療機関として24時間体制で救急患者を受け入れる。

### 3. 急性期医療

東区、上益城郡を中心とした地域の医療機関との密接な連携のもとに、地域の基幹病院として、生活習慣病やがんなどに対する質の高い急性期医療の提供に努める。

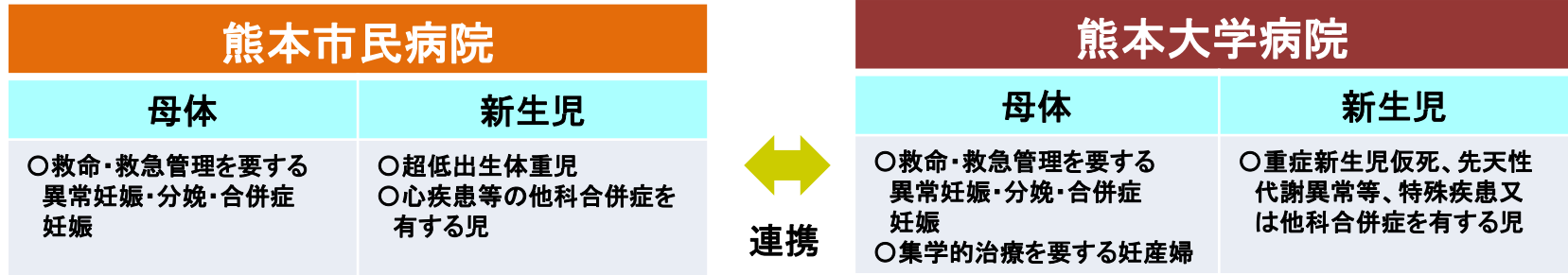
### 4. 感染症医療

熊本・上益城構想区域で唯一の感染症指定医療機関として、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症の治療にあたる。

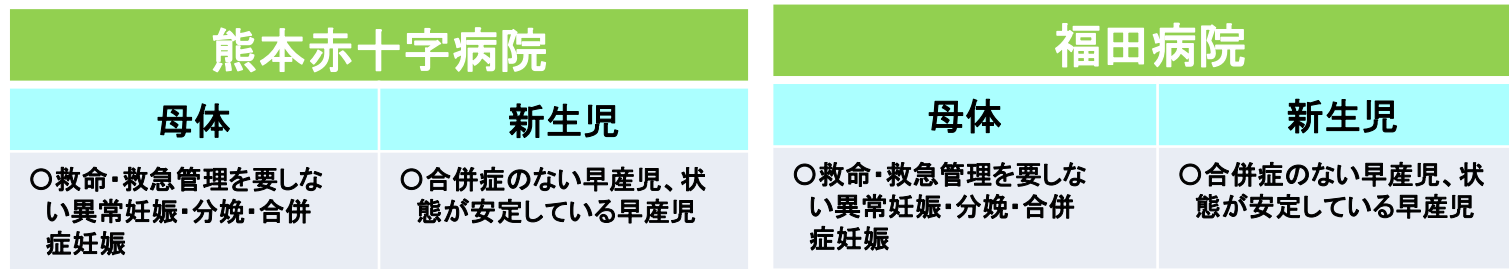
# 1 現状と課題

## □ 周産期医療

### 総合周産期母子医療センター



### 地域周産期母子医療センター



### 地域産科医療施設・助産所

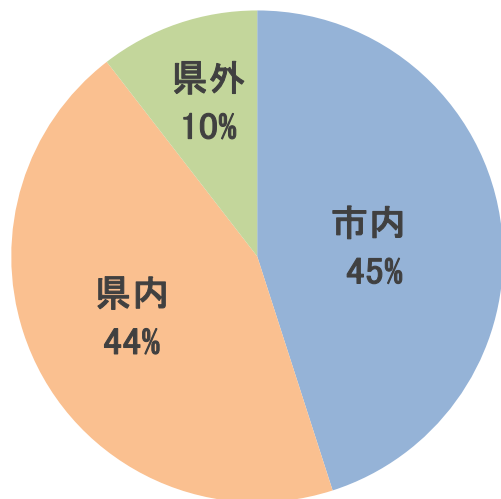


# 1 現状と課題

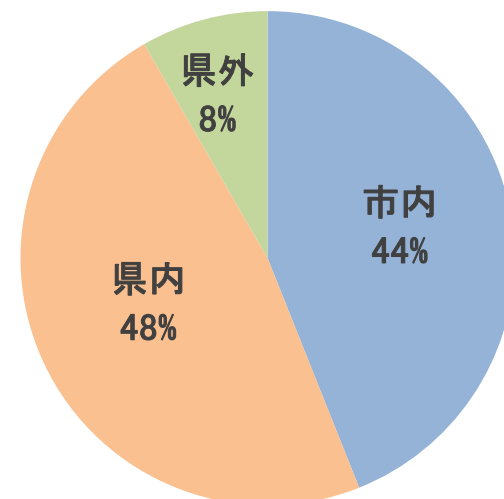
## □ 周産期医療

年度	NICU		GCU		MFICU	
	延入院患者数	病床稼働率	延入院患者数	病床稼働率	延入院患者数	病床稼働率
R2	6,564	99.9	7,872	89.9	1,615	73.7
R3	6,530	99.4	7,851	89.6	1,951	89.1
R4	6,521	99.3	6,776	77.4	1,959	89.5

R2～R4 NICU 市内、県内、県外割合



R2～R4 MFICU 市内、県内、県外割合



# 1 現状と課題

## □ 周産期医療

### 【重症の新生児の受入】

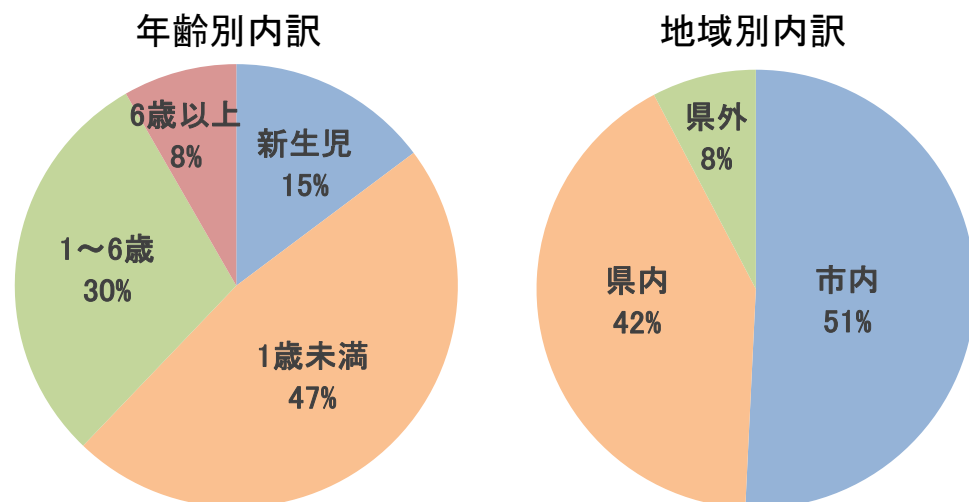
項目	R2	R3	R4
総入院数	275	318	340
院外出生	128	119	130
1,500g未満	73	69	50
1,000g未満(再掲)	44	41	29
人工呼吸療法	182	190	168
手術件数	79	103	79
すこやか号搬送件数	79	161	176
すこやか号三角搬送	42	49	28

26週未満の超早産児，先天性心疾患，新生児外科疾患・脳外科疾患など，重症の新生児を受け入れる役割を担っている

### 【小児循環器疾患】

項目	R2	R3	R4
外来患者数	3,502	3,843	4,287
入院患者数	281	255	279
NICU入院	29	21	17
先天性心疾患	204	175	165
心エコー	3,162	3,018	3,164
トレッドミル	193	207	200
ホルター心電図	131	115	117
心臓カテーテル検査	151	123	129
カテーテル治療	34	19	29
胎児診断症例数	44	34	34

### 【小児心臓外科手術】





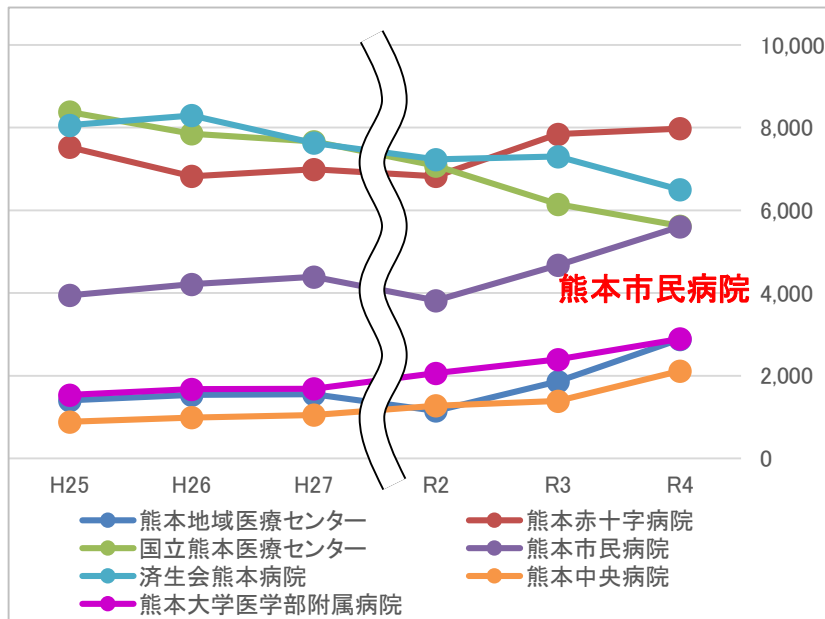
# 1 現状と課題

## □ 救急医療

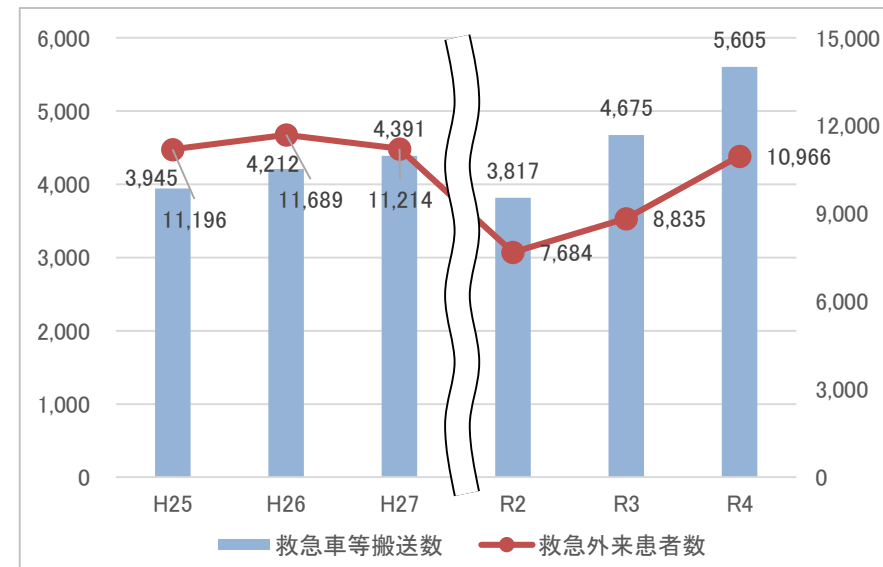
【救急搬送患者数の推移】

(公的病院維持研究会資料より)

	H25	H26	H27	R2	R3	R4
熊本地域医療センター	1,405	1,537	1,551	1,152	1,862	2,881
熊本赤十字病院	7,529	6,823	6,992	6,826	7,841	7,977
国立熊本医療センター	8,381	7,853	7,666	7,076	6,147	5,621
熊本市民病院	3,945	4,212	4,391	3,817	4,675	5,605
済生会熊本病院	8,059	8,295	7,630	7,232	7,302	6,499
熊本中央病院	886	991	1,052	1,278	1,390	2,117
熊本大学医学部附属病院	1,534	1,673	1,686	2,063	2,393	2,895



【熊本市民病院の救急受入の推移】



## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

#### □ 地域において担っている役割

1. 小児・周産期医療 : 継続し拡充していく
2. 救急医療 : 継続し拡充していく
3. 急性期医療 : 継続し拡充していく
4. 感染症医療 : 継続していく

#### □ 新型コロナウイルス感染症への対応

- 帰国者・接触者外来設置 : 2020.2.8.～
- 重点医療機関指定 : 2020.4.1.～
  - 即応病床 : 36床
  - 緊急時確保病床 : 16床
  - 超緊急時確保病床 : 8床
- 受け入れ入院患者数 : 1917人 (2023.2.9.現在)
- 診療・検査医療機関指定 : 2020.10.30.～

## 2 今後の方針

### □ 地域医療支援病院の新たな責務 (1)

#### ア) 医師の少ない地域の支援

- ・1992年より芳野診療所を本院付属とし、医師1名、看護師3名、事務職員2名を配置している。
- ・医師が不足している人吉医療センター、天草中央総合病院、水俣市立総合医療センター、くまもと芦北療育医療センターに当院の産科婦人科、小児循環器内科、脳神経外科の医師が出向し診療援助を行っている。

#### イ) 必要な医療に重点化した医療の提供

- ・小児・周産期医療：総合周産期母子医療センターとして緊急を要する母体や新生児を速やかに受け入れる役割を担う。
- ・救急医療：東区と上益城郡を中心とした二次救急医療機関としての役割を担う。
- ・急性期医療：東区と上益城郡を中心とした地域の基幹病院として、地域の医療機関と連携して質の高い急性期医療の提供を行う。
- ・感染症医療：熊本市で唯一の感染症指定医療機関としての役割を担う。

## 2 今後の方針

### □ 地域医療支援病院の新たな責務 (2)

#### ウ) 感染症医療の提供

- ・第1種感染症医療機関としての要件を満たす施設, 設備を整備している.
- ・感染症専門医, 感染管理認定看護師, 薬剤師, 検査技師から構成される感染対策部を設置し, 感染対応の業務や計画の立案にあたっている.
- ・新興感染症対応を想定した机上訓練, 実地訓練を毎年, 定期的にも実施している.

#### エ) 災害医療の提供

- ・最新の免震構造や耐震性のある受水槽の設置, ライフラインの二重化, ヘリポート設置など災害に強い病院となっており, 発災後も診療が継続できる機能を整備している.
- ・毎年, 定期的にも災害訓練を実施するとともに, 発災後3日間は応援物資なしに自律的な運営ができるための食料品, 医薬品, 器材を院内に備蓄している.
- ・災害時にはトリアージおよび患者治療スペースとして使用できるために, 屋外やエントランスホールに十分なスペースを確保している.

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【① 4機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2022年(令和4年)	2025年(令和7年)	備考
高度急性期	62	62	
急性期	318	318	
回復期			
慢性期			
その他	8	8	感染症病床
合計	388	388	

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【① 4機能ごとの病床のあり方 その2】

###### □ 地域包括ケア病床の中止

- 当院では、「地域包括ケアシステム」の確立に貢献することを目的に地域包括ケア病棟50床を設置し、急性期の患者を受け入れる病棟として運用する計画であった。
- 地域包括ケア病床での受け入れ対象患者
  - ①退院後も急性期医療が必要な患者
  - ②医療必要度の高い小児や重度心身障がいをもつ患者のレスパイト入院
  - ③在宅医療支援としての開放型病床
  - ④夜間・休日の緊急時対応に伴う後方支援
- 地域包括ケア病棟として予定していた6階北病棟が新型コロナウイルス感染症対応のためこれまで使用できなかったが、この間も②～④については他の急性期病棟で十分に対応可能であり、また①については需要が低いことが判明。
- このため、6階北病棟を地域包括ケア病床50床として運用することは中止し、急性期病床として運用することに変更した。

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【② 診療科の見直し】

	現時点 (2023年4月時点)	2025年	理由・方策
維持	脳神経内科. 呼吸器内科. 感染症内科. 消化器内科. 循環器内科. 血液・腫瘍内科. 腎臓内科. 代謝内科. 精神科. 新生児内科. 小児科. 小児循環器内科. 小児心臓外科. 小児外科. 消化器外科. 乳腺・内分泌外科. 呼吸器外科. 整形外科. 脳神経外科. 皮膚科. 泌尿器科. 産科. 婦人科. 眼科. 耳鼻咽喉科. 放射線科. 歯科口腔外科. 麻酔科. リハビリテーション科. 救急科. 病理診断科.	脳神経内科. 呼吸器内科. 感染症内科. 消化器内科. 循環器内科. 血液・腫瘍内科. 腎臓内科. 代謝内科. 精神科. 新生児内科. 小児科. 小児循環器内科. 小児心臓外科. 小児外科. 消化器外科. 乳腺・内分泌外科. 呼吸器外科. 整形外科. 脳神経外科. 皮膚科. 泌尿器科. 産科. 婦人科. 眼科. 耳鼻咽喉科. 放射線科. 歯科口腔外科. 麻酔科. リハビリテーション科. 救急科. 病理診断科.	
新設			
廃止			
変更・統合			

### 3 具体的な計画 (2)数値目標

	令和4年度	令和7年度
①病床稼働率	87.5 % (94.1 %) *	94.0 %
②紹介率	77.8 %	78.0 %
③逆紹介率	149.1 %	150.0 %

( )\*:コロナ確保病床を除いた病床での稼働率



## 3 具体的な計画

### (3)数値目標の達成に向けた取組みと課題

#### 【取組みと課題】

#### □ 実施中又は実施予定の取組み

1. 地域医療機関との連携の強化
2. 救急診療の拡充
3. 逆紹介の徹底による外来患者数の適正化
4. 患者サポートセンターの強化
  - ・ 入院前支援業務の拡充
  - ・ 効率的な病床運用
  - ・ 退院支援業務の強化
5. タスク・シフト／シェアによる多職種連携の強化
6. くまもとメディカルネットワーク活用の推進
7. デジタル化の推進による業務の効率化

## 3 具体的な計画

### (3)数値目標の達成に向けた取組みと課題

#### □ 医療従事者の確保に向けた取組み

- 現時点で目標人員数を充足していない医療従事者
  - ・ 一部診療科の医師，看護職（看護師，ナースエイド）
- 医師の確保に向けた取組み
  - ・ 大学医局への派遣依頼，ホームページでの求人情報掲載
  - ・ 2024年からの医師の働き方改革についてはA水準で運用
- 看護職の確保に向けた取組み
  - ・ 学校訪問
  - ・ 各種協会による就職説明会，自治体等によるオンライン説明会への参加
  - ・ ホームページやハローワークでの求人情報掲載
  - ・ 看護協会が運営する求人サイトでの求人情報掲載
  - ・ 求人広告誌への掲載
  - ・ 紹介業者を活用した採用